

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 273

事務事業名	地域子育て支援拠点事業
-------	-------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	こども未来部		
課名	こども政策課		
課長名	田下 陽一	内線	170
担当者名	岸 久仁子	内線	47-6111

基本目標	010103	人を育むまち
政策		子育てしやすいまちづくり
施策		子育てを支える環境の充実
関連施策		

会計	一般会計	
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	1	児童福祉総務費
事業コード	020106 020107	地域子育て支援拠点事業 こども未来館運営事業

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	誰(何)に対して事業を行うか 子育て家庭における小学校就学前子どもとその家族		
意図	対象をどのような状態にしたいか 親同士の交流を通して、子育てのストレス軽減や育児不安の解消を図り、子どもの健やかな育ちを促進する。子育てに関する地域とのつながりを広げ、地域で子どもを守り・育てるなどの子育て支援力の向上を図る。		
事業概要	意図を達成するために実施することは何か こども未来館及び市内7か所の地域子育て支援センターで、主に在宅の子育て世帯に対する子育て支援事業を実施する。 ・親子遊びと交流に関する事業、子育てに関する講座・講演会の開催 ・子育てに関する相談支援、必要な情報の提供 ・こども未来館運営(遊び場の提供、子育て支援サポーターの養成と活動支援、子育てサークルの結成促進)		
事業期間	平成 9 年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営、委託
根拠法令、要綱等	子ども・子育て支援法、子ども・子育て支援交付金交付要綱		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 親子交流の場の開設日数	計画値	2,052	2,031	2,150	2,200	
		実績値	2,052	2,147	2,187		
	(市内8か所支援センター延べ日数)	達成度	100.0%	105.7%	101.7%		
	② 子育てつどい開催回数	計画値	1,300	1,350	1,370	1,500	
実績値		1,350	1,368	1,492			
成果指標	① 親子交流の場の利用者数	計画値	60,000	65,000	100,000	100,000	
		実績値	59,353	87,926	85,890		
	(市内8か所支援センター延べ数)	達成度	98.9%	135.3%	85.9%		
	② 子育て支援サポーターの登録数	計画値	20	22	25	50	
実績値		23	23	46			
(市内8か所支援センター登録数)	達成度	115.0%	104.5%	184.0%			

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	28,413	34,372	43,387	49,559	65,281	65,281	65,281	0
国庫支出金		11,307	14,215	16,035	21,253	21,253	21,253	
県支出金	26,682	11,307	14,215	16,035	21,253	21,253	21,253	
地方債								
その他	40	171	420	426	426	426	426	
一般財源	1,691	11,587	17,471	17,063	22,349	22,349	22,349	
② 人件費(千円)	22,561	21,597	20,319	21,489	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	2.78	2.81	2.70	2.70				
時間外勤務(時間)	234	181	268	280				
嘱託等人数(人)			0.40	0.70				
フルコスト(①+②千円)	50,974	55,969	63,706	71,048				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	各地区の子育て支援センターのニーズが高まっており、事業内容・回数等が増加傾向にある中で、各支援センターの適正な運営管理への支援を行った。
事業が抱える問題・課題等	在宅子育て支援策として、これまでは、母子中心の支援の充実を図ってきたが、多種多様な家族形態・地域の中で、子どもが健やかに育つには、父親や祖父母・地域の方の存在も大きいと考える。今後は、父親、祖父母・地域の方向けの子育て支援事業も実施し、家族・地域ぐるみの子育て支援を図っていくことが必要である。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	多様な子育て支援策の中から、子どもの成長及び保護者支援のニーズに応じて地域の相談窓口として対応することは重要である。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	核家族の進行や地域コミュニティーの希薄化などを背景に地域における子育て支援が重要性を増す中、市は積極的に本事業を推進する必要がある。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市内8か所の支援センターのつどいや講座も充実してきており、利用者が地域の支援センターを活用しやすい状況になっている。また、こども未来館の開設により、季節・天候に関らず自由に集い遊べる場が確保できた。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	本事業における親同士の交流、子育て相談を通して保護者の育児不安の軽減が図られるなど、子育て支援体制の充実に貢献している。こども未来館には父親や祖父母の来館も多く、家族の絆を維持する効果がある。また、虐待の疑い、気になる親子の情報をこどもセンターへ繋げたり、子育て講座等に誘う事で、早期の支援が可能となっている。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	センター運営については、増え続けるニーズに対し、事業量に応じた適正な運営を行っている。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	子育て講座の参加者から原材料費等の実費徴収を行っている。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	引き続き適正な運営に努める。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。